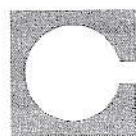


JIS

病院用ベッド

 JIS T 9205 : 2009



PT. Chitose Indonesia Mfg.
Quality Assurance

9.6 過度のベッド温度

過度のベッド温度は、JIS T 0601-1 の 42. (過度の温度) による。

9.7 電気部品の防水性

電気部品の防水性は、次による。

- ベッドはこぼれた液体からの保護のため、JIS C 0920 の IPX4 以上の防水性を満たさなければならない。ただし、ベッドの試験では、工具を使用せず取り外すことが可能なコード及びコネクタの接続においては、確実に接続した状態で行わなければならない。
- ベッド洗浄に対応したベッドの防水性は、受渡当事者間の協議による。

9.8 電磁両立性

電磁両立性は、JIS T 0601-1-2 による。ただし、手元スイッチなどの開閉に伴うクリックノイズ及びベッド以外から発生する周囲の雑音などは測定値としない。

10 試験方法

10.1 試験条件

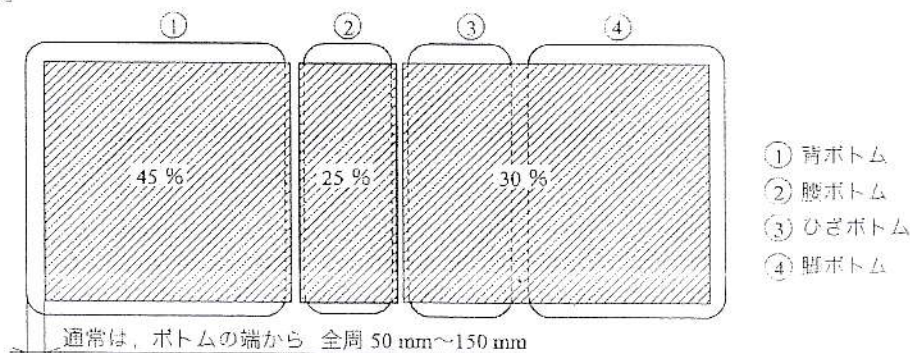
試験条件は、次による。

- 床面 床面は、水平で平坦（坦）な面とする。
- 状態調節 寸法調節機構をもつ試験体は、試験を行うときには、事前に最大使用寸法に調節する。ただし、この状態調節は、各試験共通とする。

10.2 静荷重試験

静荷重試験は、次による。

- ベッドは、安全使用荷重の 2 倍、又は 4 000 N の等分布静荷重のいずれか大きいほうの荷重を負荷する（等分布の荷重負荷は、図 7 を参照）。
- 静荷重は、1 時間加える。
- 静荷重を取り除いた後、破損、外れ及び使用上支障のある変形並びに各機能の作動を目視によって確認する。



注記 パーセント (%) は 10.2 a) で定めた荷重の割合

図 7—荷重分布

10.3 安定性試験

本体の安定性試験は、キャスター及び／又はサイドレールを試験負荷に関して、通常使用状態における最も条件の悪い位置に設定して、次の試験を行い、転倒するかどうかを確認する。ただし、マットレスは使用しない。

- a) 横方向安定試験 ベッドのボトム外端から 250 mm の幅で 125 mm の所に中心がくるように水平なボトムに 2 250 N の荷重を加える (図 8 及び図 9 参照)。

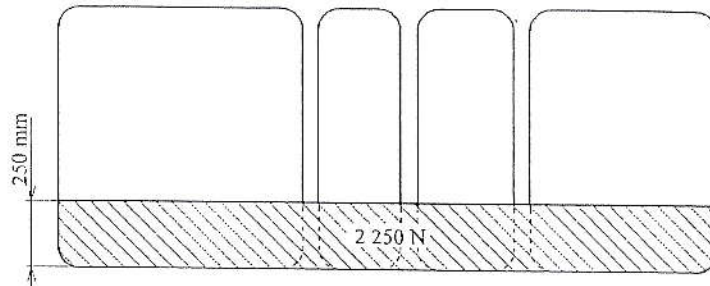
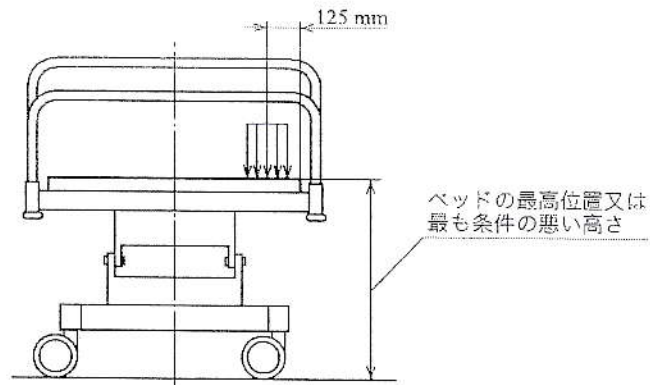


図 8—横方向安定試験上面図



注記 キャスターがある場合は、キャスターを最も条件の悪い方向にセットする。

図 9—横方向安定試験側面図

- b) 縦方向安定試験 ベッドのボトム外端から、250 mm の幅で 125 mm の所に中心がくるように水平なボトムに 1 500 N の荷重を加える (図 10 及び図 11 参照)。

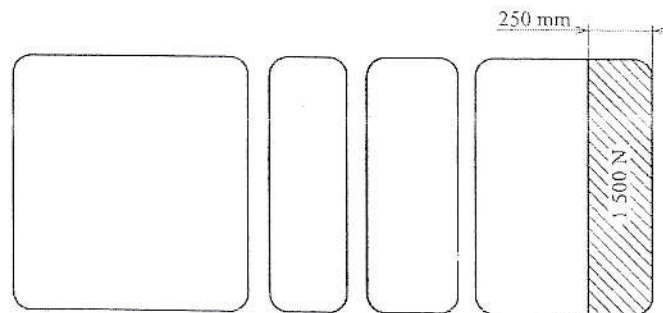


図 10—縦方向安定試験上面

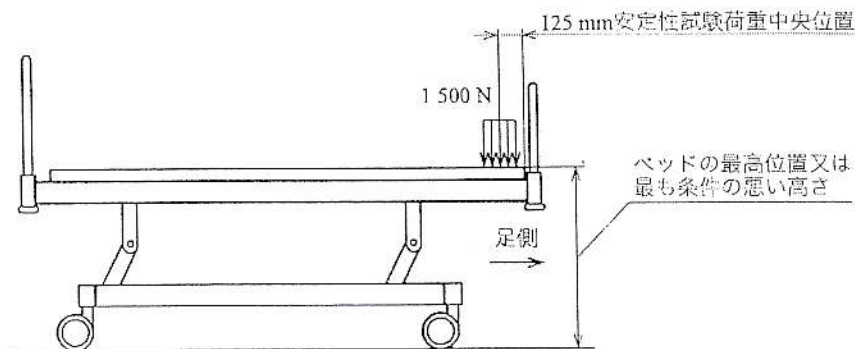


図 11—縦方向安定試験側面

- e) ベッド用グリップ横方向安定試験 ベッド用グリップを 90° に折り曲げた状態で (図 12) 先端部から 100 mm の位置に 450 N の荷重を加える。

単位 mm

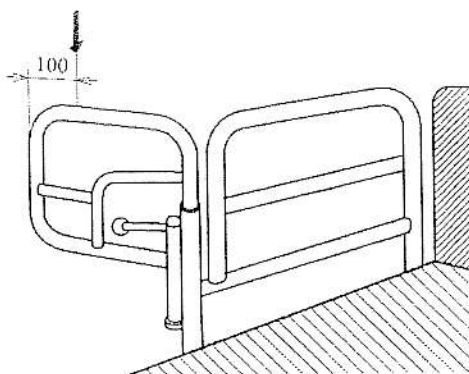


図 12—ベッド用グリップによる安定性試験

- d) 静止安定試験 ベッドは、運搬状態においてベッドが意図していないときに動作 (床を移動) するのを防止する機構など (ロック装置付きキャスター) が装備されていなくてはならない。安全使用荷重を (図 13 に示すように) 正しい位置にし、ロック装置 (ブレーキなど) をかけ、10° 傾斜した面にベッドを運搬状態 (取扱説明書に運搬状態が定義されていない場合には、最も条件の悪い通常使用状態) にして置く。キャスターに旋回機能がある場合、キャスターは、最も条件の悪い位置に向いていなければならない。ベッドは 10 mm 以上移動してはならない (図 13 参照)。

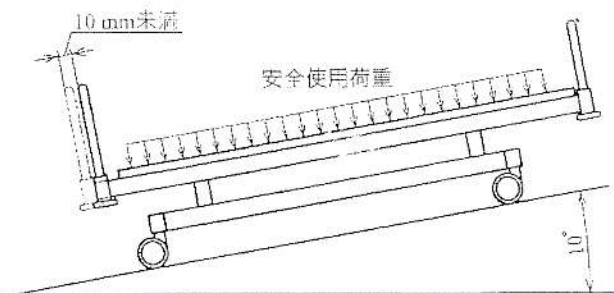


図 13—静止安定試験